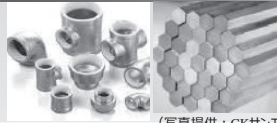


II. 事例紹介① — 正しい評価と待遇改善により、優秀な人材を確保 —

(株)CKサンエツ

【本 社】高山県高岡市
【創業】1920年 (大正9年)
【資本金】2,756百万円
【売上高】691億円 (2021年3月期)
【従業員数】約1,000名 (グループ全体)

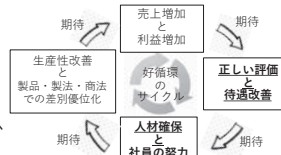


(写真提供: CKサンエツ)

- 配管機器の国内生産量トップクラスのシーケー金属(株)と日本最大の黄銅棒・黄銅線メーカーのサンエツ金属(株)を中核とし、事業会社11社を傘下におさめる純粋持株会社
「地球だけじゃ無い価値の創造」を目指しており、多数の製品が国内シェアNo1となっている

1.経営方針

- 「努力するに値するプロの仕事」と「努力して働けど報われる働きがいのある職場」を提供することで、社会に貢献。
正しい評価と待遇改善により人材を確保し、生産性向上と製品等の優位性に繋げ、収益を増加させる、という好循環のサイクルを回していく。



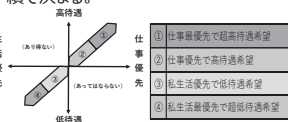
2.正しい評価: 高水準の給与

- 2010年から業績にかかわらず賞与支給額を、社員一人当たり平均100万円/回(年2回支給)に固定。2017年から110万円/回、2020年から120万円/回に増額。
人事評価で実績を正しく評価して賞与に反映する仕組みとしており、努力が報われる職場を実現。
初任給、平均年収も地域トップクラスであり、「利益を株主だけでなく、社員にもしっかり還元する」を実践。

3.待遇改善

(1)働き方選択制度

- 社員の価値観、ライフステージは様々であり、全社員一律の働き方は難しいことから、2017年、社員が毎年1回、自ら働き方を選ぶ「働き方選択制度」を導入。
現在の構成比は①15%、②70%、③15%になっている。どの働き方を選択しても昇進には影響せず、昇進は実績で決まる。



(2)夜勤レス

- 業界では一般的な夜勤を全工場で廃止。最大のネックだった止められない電気炉等は、夜間の完全自動化や一時停止を実現し解決。
生産性を維持するために、生産ラインが2~3倍必要になるが、M&Aで他社設備を活用することで対応。
社員は時差ボケなく健全な生活ができるようになり、社員間の意識疎通も円滑になるなど、満足度が向上。

(3)社員教育

- 新入社員は指導担当者制により、先輩社員がマンツーマンで指導。適切に指導した先輩社員には10万円を支給。人事評価に「若手社員の育成」を盛り込んでいる。
100種類を超える通信教育は、何種類受講しても、全額会社負担。

(4)福利厚生 の充実

- 毎年社員旅行を開催し、隔年で海外旅行へ。全額会社負担でおこづかいも支給。

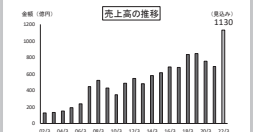
4.取組成果

- 「働きがいのある会社」ランキング2022年第2位。

Table with 2 columns: Rank (1-4) and Company Name (A社, CKサンエツ, B社, C社).

(GPTW2022年版調査)

- 2022年3月期の売上高は創業以来初となる1000億円を達成する見込み。



II. 北陸地域における設備投資の現状及び今後の方針について 事例紹介①

環境投資が生むイノベーションで海外市場の拡大を狙う取組

小松マテール (株)

【本 社】石川県能登町
【資本金】4,680百万円 (従業員数)1,105名
【業 種】繊維工業・染整業

染色を基盤として、海外のトップブランドにも供給するファッションスポーツ等の染料分野から、資材分野、さらには炭素繊維等まで環境共生素材を軸とした先端材料分野まで、幅広く事業を展開。

背景

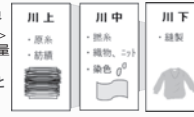
- 狙うマーケットは、欧米のラグジュアリーブランド。欧米では「環境意識」が強く、サステナブルの要素がないと売れない時代。

【ファッションと環境】

国連貿易開発会議(UNCTAD)では、ファッション業界は世界で第2位の汚染産業とみなされている。
例えば、2015年、繊維生産からの温室効果ガス排出量はすべての国際線と海運を合わせたものを上回る。
また、世界の工業用水汚染の20%は、繊維の染色と処理に起因。
※1環境省「繊維産業の現状」2019.4.30
※2Ellen MacArthur Foundation(2017) A NEW TEXTILES ECONOMY: REDESIGNING FASHION'S FUTURE

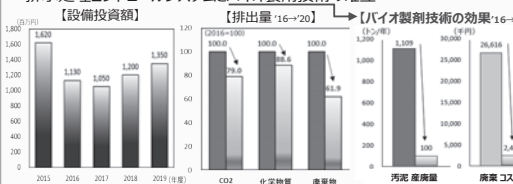
【海外市場: 売上高構成比%、2021年度】

Table showing regional sales composition: 欧州 30.8%, 北米 23.1%, アジア 33.0%, 中東 32.0%



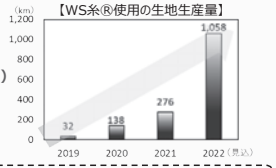
これまでの取組・成果①

- 2015年12月、「環境宣言」。以降、対応投資を着実に実行し、CO2排出量等の数値目標を達成。
<環境宣言に係る主な投資実績①/2>
■LNG化に併せて、高効率LNGボイラー、制御システムを導入
■工場排水の熱を回収し、工場用水を温める廃熱回収システムを独自構築
■排水処理で発生する余剰微生物(廃棄物)を活用した製品開発
→余剰汚泥、粘土、珪藻土等を混練・焼成し、舗装材等として商品化。2019年完成の国立競技場にも採用！
■排水処理コントロールシステムとバイオ製剤技術の確立

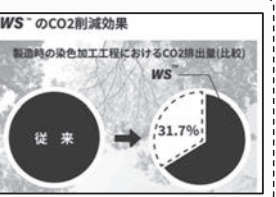


これまでの取組・成果②

- <環境宣言に係る主な投資実績②/2>
■エネルギーや染料の大幅な抑制を目指す製品開発(→環境配慮型素材として商品化)
【開発の事例】
2017 系開発プロジェクト開始
2020 「WS糸®」の完成、活用強化
2022 「WS糸®」を量産開始

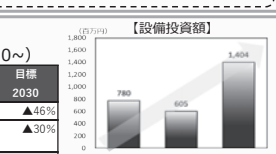


- ★WS糸®(Soku Sen=ダブル)は...
染加工メーカーや北陸先端科学技術大学院大学と連携し、糸作りの工程で物理的作用を変化させて開発した「速く染まる糸(そくせん)」。この糸を使用した織物生地は、効率よく染め上げることができ、ファッション、カーテン、インテリア向けの生地まで用途は幅広い。
染色効率 50% UP
染料の使用量 20% DOWN
低温で染まる
エネルギー消費量 30% DOWN



今後の展開等

- 小松マテール・サステナビリティ・ビジョン (2020~)
基本年度 2013 目標 2030
1.気候変動 温室効果ガスの削減 4,74t-co2/t ▲46%
2.循環型社会 有害化学物質の削減 0.96t/t ▲30%
3.感動創造 環境配慮商品の拡大
mateReco®
売上高比率 2019 10.0% 目標 50%



<SDGsに係る主な投資計画>

- 「WS糸®の使用素材」のほか、「非フッ素撥水剤による加工素材」、「有機溶剤を使わない素材」等に続く、環境配慮型素材の製品開発投資を継続
■排水汚泥を分解するバイオ製剤技術の外販・事業化投資

→「環境はこれからのビジネスのキーワード」、「SDGsは研究を活性化させる」

【出所: 小松マテール(株)】